

High-dose dexamethasone therapy as the initial treatment for idiopathic thrombocytopenic purpura

高瀬, 謙

<https://hdl.handle.net/2324/4772319>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (医学), 論文博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)

氏名： 高瀬 謙

論文名： High-dose dexamethasone therapy as the initial treatment for idiopathic thrombocytopenic purpura
(特発性血小板減少性紫斑病に対する初期治療としての大量デキサメサゾン療法)

区分： 乙

論文内容の要旨

特発性血小板減少性紫斑病 (Idiopathic thrombocytopenic purpura : ITP) に対する初期治療としての短期間の大量デキサメサゾン療法 (high dose dexamethasone : HDD) と通常量プレドニゾロン療法のいずれが長期の治療効果で優れているかについての結論は出ていない。我々は、治療適応となる18才から80才のITP症例に対する初期治療としてのHDDの有効性及び安全性を確認する目的で、多施設共同前向き試験を施行した。日本においては、ITPの初期治療として、*Helicobacter pylori* (*H. pylori*) 除菌療法の有用性が強調され、ガイドライン上も推奨されていることから、*H. pylori* 陽性症例においては、HDDに除菌療法を併用し、その安全性を評価することとした。主要評価項目は46日間のHDD療法終了後180日時点での完全奏効 (complete response : CR) と部分奏効 (partial response : R) 症例の割合とした。23例が症例登録され、6例が *H. pylori* 陽性であった。*H. pylori* 陽性の5症例で除菌成功した。主要評価項目である、治療終了後180日時点での全奏効率 (CR+R) は60.9% (14/23)、90%信頼区間41.7-77.8%であり、統計学的に本治療の有効性を証明することはできなかった。*H. pylori* 除菌有効例での奏効率 (CR+R) は80% (4/5) であった。1例にgrade 4の有害事象を認めた。我々の試験では年齢中央値63才と比較的高齢かつ重症のITP症例が登録されたが、高い安全性とこれまでに報告されているHDD療法と遜色のない治療効果が確認された。